

学校と行政、地域が一体となって 子どもを **伸ばす・守る・支える**

教育基本法 H18
学校教育法 H19

自分のよさや可能性を見付け、目標実現に立ち向かう子ども
～ 個別最適な学び(ICTの効果的活用)と協働的な学び(学び合い)～

学習指導要領 H29
関連法規、答申 等

道の基本理念

自立

★3本の施策の柱(22 施策)の推進★

共生

① 子どもたち一人一人の可能性を引き出す教育の推進
SDGs 資質・能力 特別支援教育 STEAM教育
キャリア教育 体力・運動能力 道徳 ふるさと教育
健康教育・食育 幼児教育 GLOBAL人材

② 学びの機会を保障し質を高める環境の確立
ICTの活用 いじめ防止 不登校支援
教員研修 働き方改革 学びのsafety net

③ 地域と歩む持続可能な教育の実現
地域と学校の連携 安全・安心
生涯学習・社会教育 芸術文化

上川教育局の重点

～学びを伸ばす～

～学びを守る～

～学びを支える～

★新しい時代に必要となる
資質・能力の育成

★特別支援教育の推進

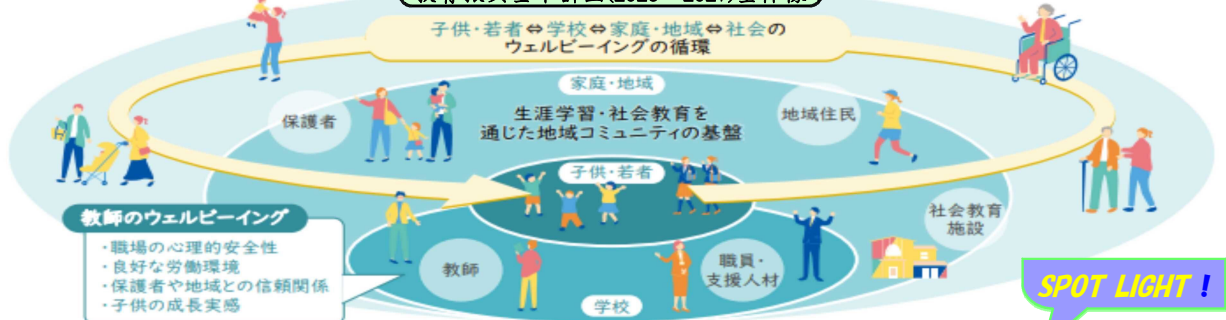
★不登校児童生徒への
支援の充実

★地域と学校の連携・
協働の推進

★STEAM教育の推進

★体力・運動能力の向上

教育振興基本計画(2023～2027)全体像



学校経営【指導者よし・子どもよし・保護者よし】学級経営

意識化の
重点

★ **子ども理解の『感度を高める』学校運営・学級づくり★**

～「できた!」(知・技)「わかった!」(思・判・表)「やど!」(主体的)の姿を確実に見取り育む～

伸ばす

安心

連携

子どものよさや可能性を引き出す指導

- ① 身に付けさせたい資質能力の明確化
◇ 単元→本時の評価規準の設定&見取り
◇ ねらいに沿った個別や協働の学び
- ② ふるさと教育・キャリア教育の推進
◇ 職業観・勤労観を育むキャリア発達
- ③ 健康教育・食育の充実
◇ 心身の保持増進に関心をもたせる
- ④ 特別支援教育の推進
◇ 障がいに応じた適切な指導体制・方法

学びの機会を保障し
教育の質を高める指導

- ① ICTを効果的に活用した指導
◇ 情報モラルの状況把握と指導
◇ AIドリル等の利活用の工夫
- ② いじめ防止・不登校支援の取組
◇ 未然防止・早期認知・早期対応
- ③ 子どもと向き合う時間の確保
◇ チーム学校としての意識の高揚
◇ 心理的安全を保つ職場環境

地域と一体となった
持続可能な教育の実現

- ① 地域と学校の連携・協働の推進
◇ 地域に開かれた教育課程の創造
◇ 教育資源(人材)の更新・発掘
◇ 世代を越えた交流機会の設定
- ② 健康を意識した運動の習慣化
◇ 各種スポーツ大会参加の啓発
- ③ 図書館・博物館などとの連携
◇ 豊富な情報を活かした学習活動

教育課程

◆ 確かな学力、豊かな心、健やかな体をはぐくむ調和の取れた教育活動の推進 ◆

- 年間指導計画(題材配当表)の進行管理及び横断的な学習活動の展開(朱書等で実施の足跡を残し次年度へ繋げる)
- 各種学力・体力調査やチャレンジテスト等の適切な実施・分析に基づく指導の改善(指導と評価の一体化)
- 幼保&小・中&高の情報交換・交流に基づく滑らかな接続と小中連携に基づく教育活動の推進(連携から一貫へ)

指導の重点

指導の重点				
学 び 方 を 知 り		生 き 方 を 知 り		行 い 方 を 知 る
各 教 科	総合的な学習の時間	外国語活動	道 徳	特別活動
☐ 学習習慣の定着 ☐ 基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得 ☐ 思考・判断等の表現方法(タブレットの活用等)を工夫・改善し深い学びにつながる授業改善	☐ 各教科等との関連を図った探究的な学習活動となる単元づくりと実践 〈職場体験や農業学習〉 ☐ 学習のねらいに基づく地域の施設・資源や地域人材の意図的・効果的な活用	☐ 積極的にコミュニケーションを図る態度の育成 ☐ 聞く・話す・(読む)・(書く)ことの基礎的な技能の習得 ☐ 担任とALTとが一体となった指導方法の工夫	☐ 全教育活動を通じ内容項目のねらいを踏まえた実践力の向上 〈別業の活用〉 ☐ 教科書題材等を活用した自身の振り返りの日常化	☐ 児童生徒の自主的・実践的な活動の保障 ☐ 各種行事・集会等の事前・事後の指導の充実 ☐ 一人一人の自己肯定感や自己有用感の育成